

ウルトラマンを演じるということ

芝居屋しし丸カンパニー 児玉 俊介

ある日、以前に所属していた劇団うりんこから「ウルトラマン」を演じてほしい、と僕に依頼がありました。しかもそのウルトラマンは子育ての真っ最中、お父さんでもあるというのです。もうびっくり！なぜなら、僕は小学校の時の作文に、「おとなになったら、ウルトラマンや怪獣のぬいぐるみに入ってテレビであげられます。」と書いていたからです。しかも今僕は、子育てに悩むお父さんでもあります。この絵本のファンでもありました。きっとこの役は芝居の神様からのプレゼントだと思い、逆にうりんこに「ぜひ出演させてください」とお願いしました。

子どもにとって、お父さんはどう見えているんでしょう？少なくともお父さんとしては、家族の前ではかっよく素敵でありたい、と願っています。でも、なかなかそうはできないんだ……。だって、毎日のお仕事でヘトヘトに疲れてますからね。だから、お休みの日は、ヨレヨレのジャージなんかはいて家でごろごろしてたりするんです。子どもの目には、だらしくショボイ姿に見えるかもしれません。僕自身も子どもの前ではそんな感じ。もし、ウルトラマンもそうだったら……。絵本の原作者、宮西達也さんは本当にそんな世界をみごとに絵本に描きだしています。その世界を今度はお芝居で表現するのです。誰もが知っている国民的ヒーロー、ウルトラマンを素顔で演じる……。プレッシャーも大きかったのですが、僕には子育てウルトラマンの気持ちりが痛いほど分かります。そして、少年時代にウルトラマンを大好きだったお父さん達を代表して、日々演じているつもりです。



児玉 俊介氏

プロフィール

宮崎県に生まれる。名古屋市在住。劇団うりんこを経て、「芝居屋しし丸カンパニー」を設立。名古屋や東京の劇団に客演し様々なヒット作品に出演。ミュージカルから人形劇まで、幅広いスタンスで活躍。また、市民ミュージカルやストレートプレイなどの舞台でも脚本家、演出家として活動している。

近年の代表作「ゼロ弾きのゴーシュ」「いきててよかった」「ムクバクとちちやネコ」「赤ちゃんが来る！」「ファイブ」「おとうさんはウルトラマン」等。